

奥秩父縦走報告

2009 年 1 月 4 日(日)－ 9 日(金)

メンバー：後藤博志 (M2)

只左一也 (M2)

1 日目：塩山駅→(タクシー)→新地平→雁峠→
雁坂小屋 (幕営)

2 日目：雁坂峠→甲武信小屋 (冬期小屋泊)

3 日目：甲武信小屋→国師ヶ岳→大弛 (幕営)

4 日目：大弛→金峰山→大日小屋 (幕営)

5 日目：大日小屋→瑞牆山→大日小屋→大日岩
→八丁平→小川山南尾根の 2270m 地
点(小川山から 1.5km 地点) (幕営)

6 日目：幕営地→小川山→廻目平→川端下バス
停→(バス) →小海線信濃川上駅

1 日目 (1 月 4 日(日))

高尾駅	06:14 発	各駅停車松本行
塩山駅	07:23 着	08:00 発(タクシー)
新地平	08:20 着	08:30 発
雁峠	12:40 着	13:15 発
燕山	13:55 着	
古札山	15:40 着	
水晶山	16:20 着	16:25 発
雁坂小屋	17:00 着	(幕営)
(歩行時間：7 時間 30 分)		



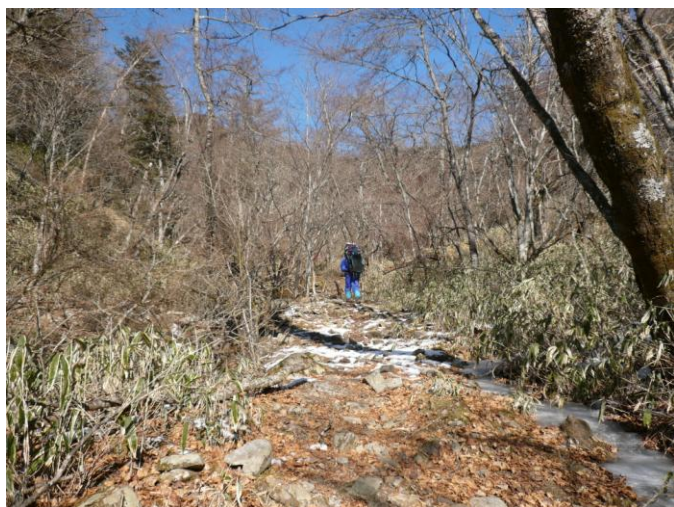
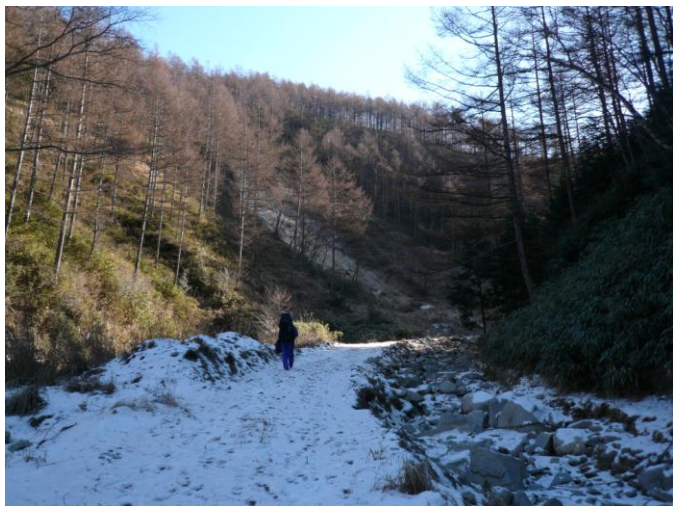
亀田林業林道の入り口。この時期はバスがないので、
ここまでタクシーを利用。



ちょうど 1 年前、雲取山～笠取山の縦走で下った林道
を登る。今回の縦走はその続き。日影にはうっすらと
雪が積もっている



空が真っ青で気分は最高。長い林道歩きが苦にならな
い。



林道の終点。何度か川を横切るが、水量も少なく全く問題ない。





雁峠の南西斜面は気持ちの良い草原



雁峠に到着。雁坂峠からやってきたという陽気な中高年の団体が休んでいた。デカイザックにピッケルやスコップと重装備の私たちが気になるらしく、質問攻めにあった。右の山は笠取山。



雁峠



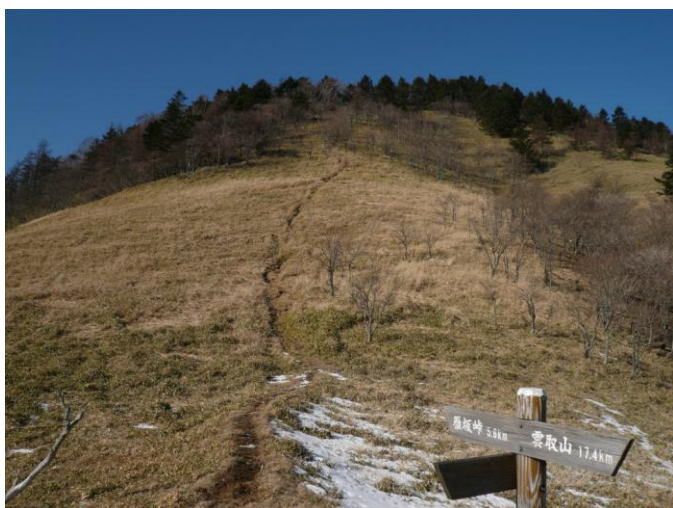
雁峠から南西方向の眺め。正面は、黒金山(右のピーク 2232m)から乾徳山(中央、2016m)の稜線。遠くかすかに見えるのが南アルプス(左)。



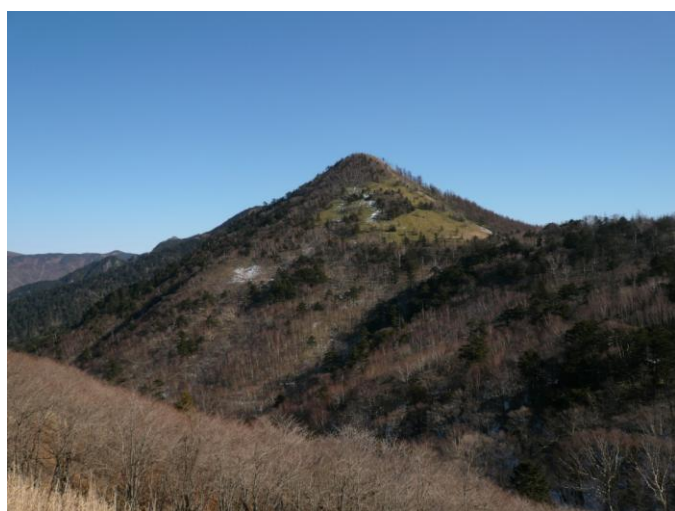
南アルプス南部の遠望。中央の高い山は荒川岳や赤石岳。



気持ちの良い笹原を登る



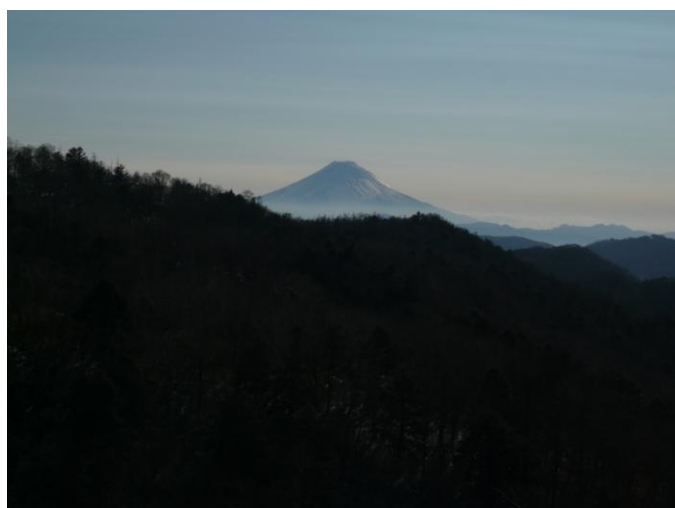
甲武信ヶ岳方面の縦走路。



振り返ると、笠取山(1953m)が立派。



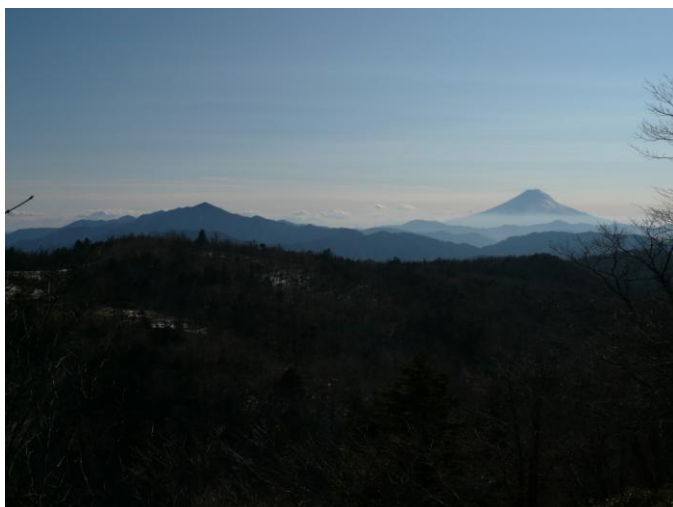
雁峠を出発。雁峠を振り返る。



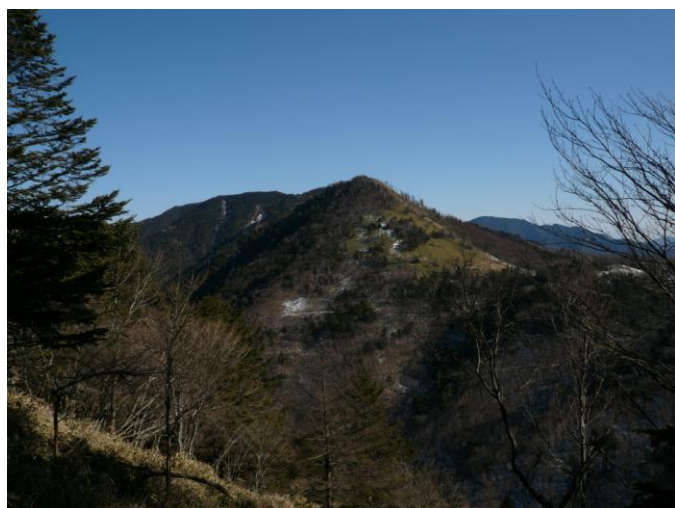
高度を上げると、山に隠れていた富士山が姿を現した



雁峠からの急登を登りきると、樹林帯のなだらかな尾根道が続く。



左は大菩薩。この通り、富士山の眺めがあまりにも素晴らしくてついつい立ち止まり、なかなか進まない。



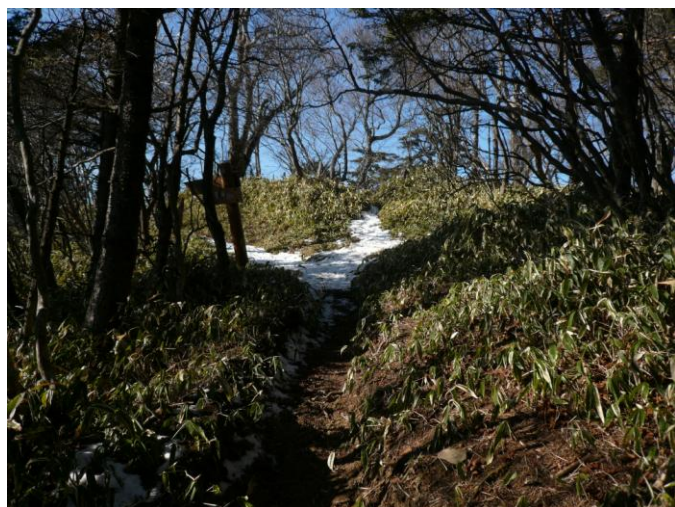
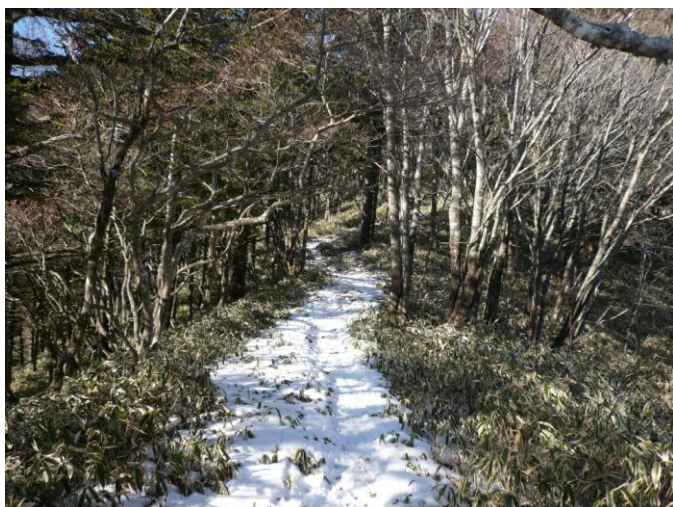
笠取山を振り返る



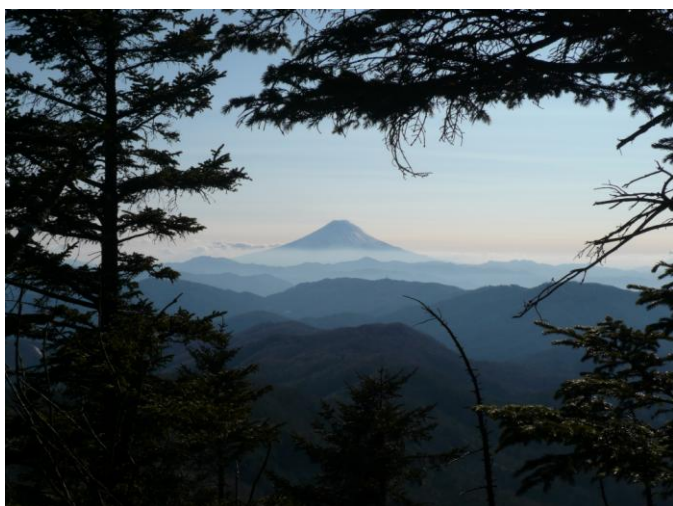
峠からずいぶん登ってきた



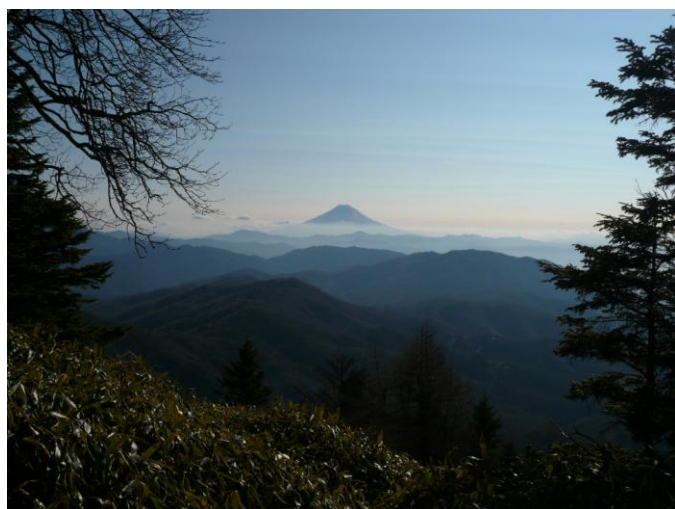
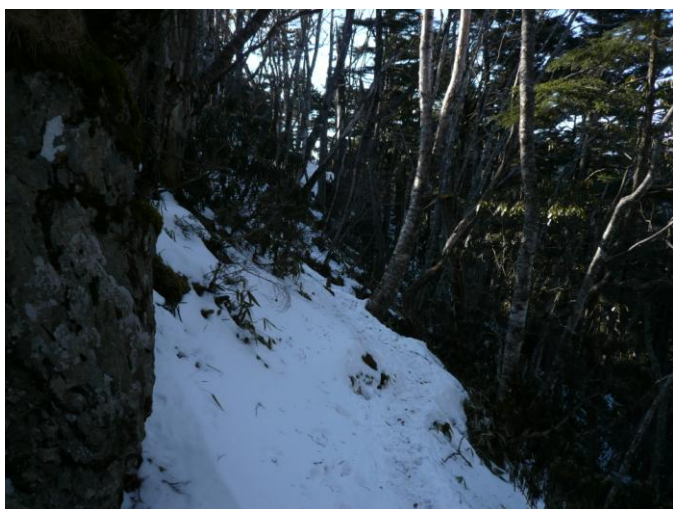
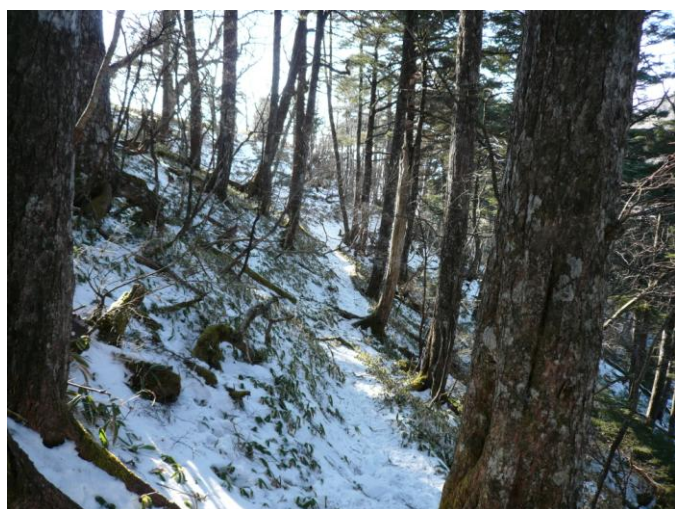
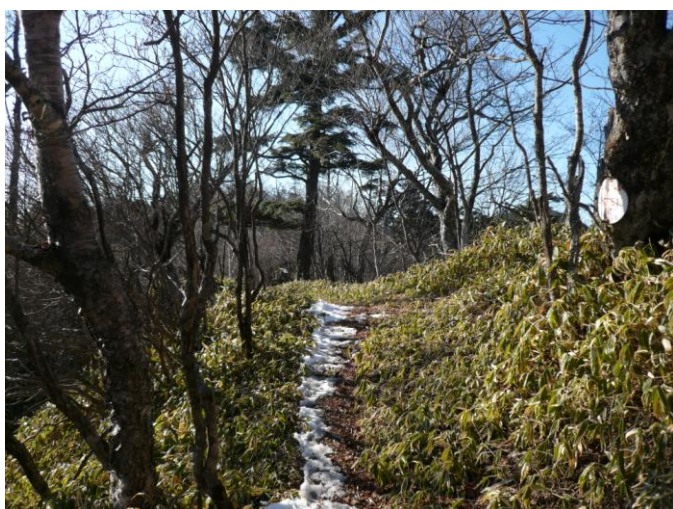
この先は雁坂峠まで、下草が笹の樹林帯の、気持ちの良い道が続く。事前の情報通り、雪が少ない。



燕山(つばくらやま)山頂直下

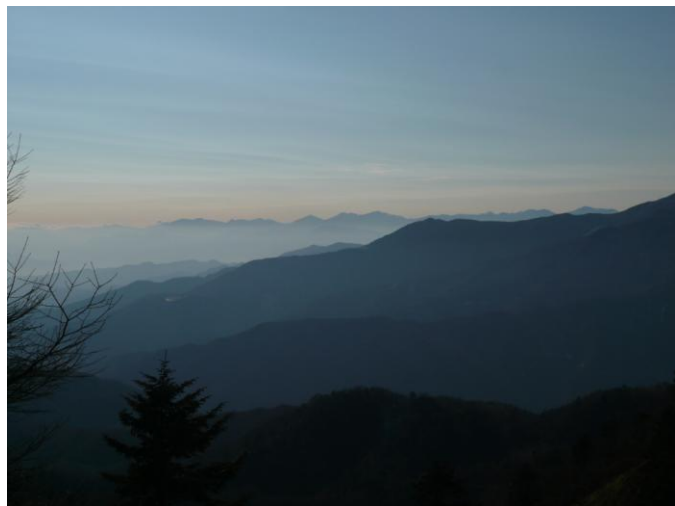


樹林に囲まれた燕山山頂

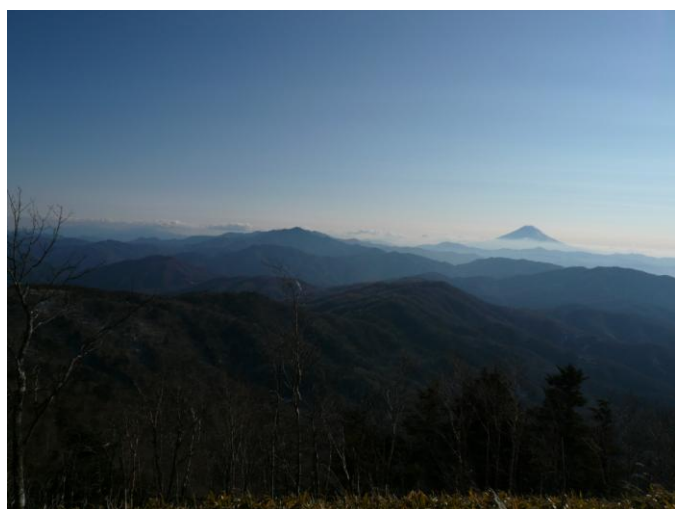
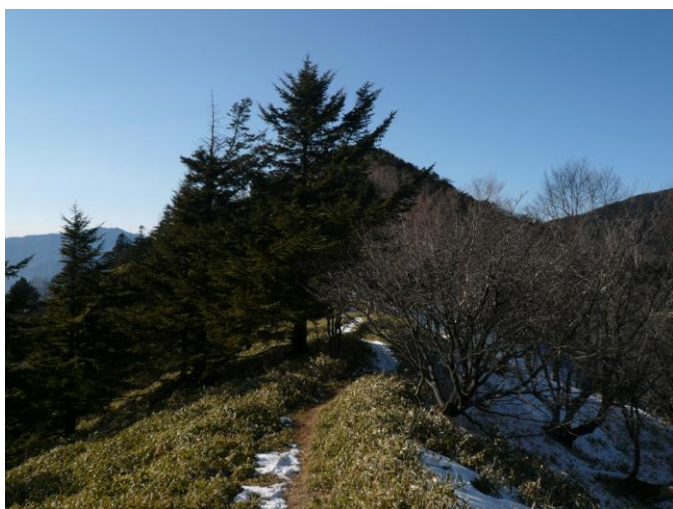
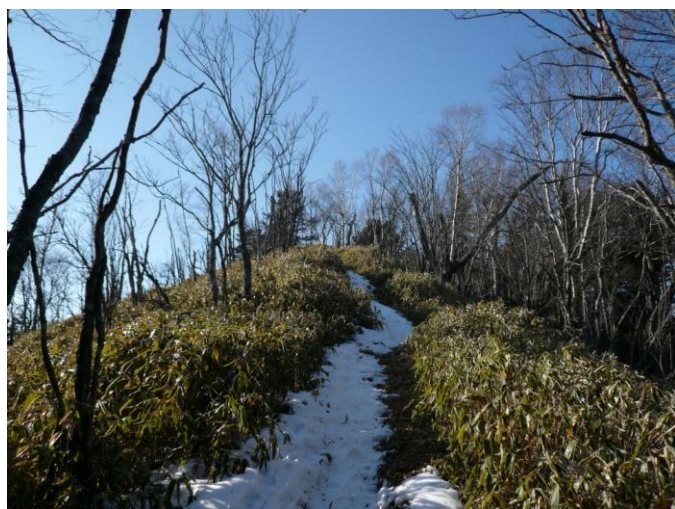
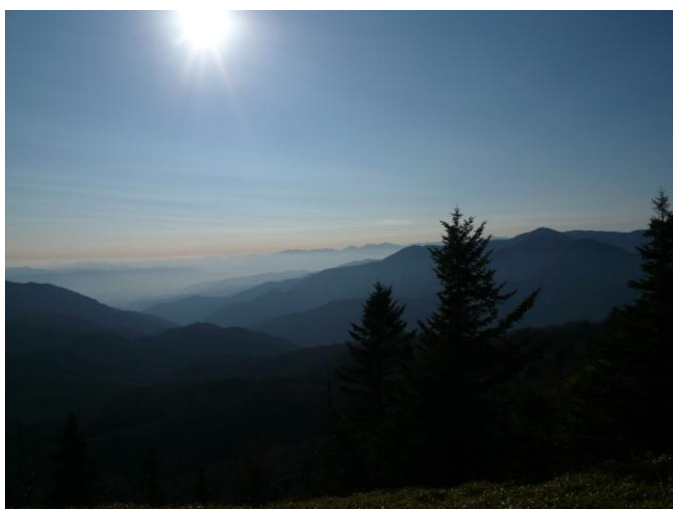


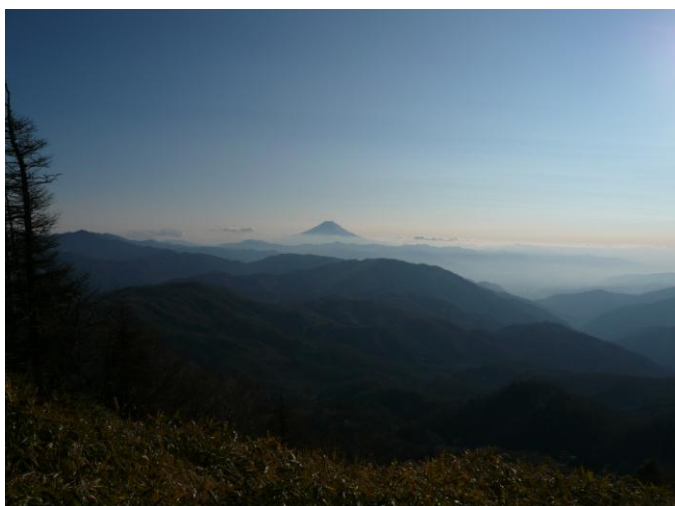
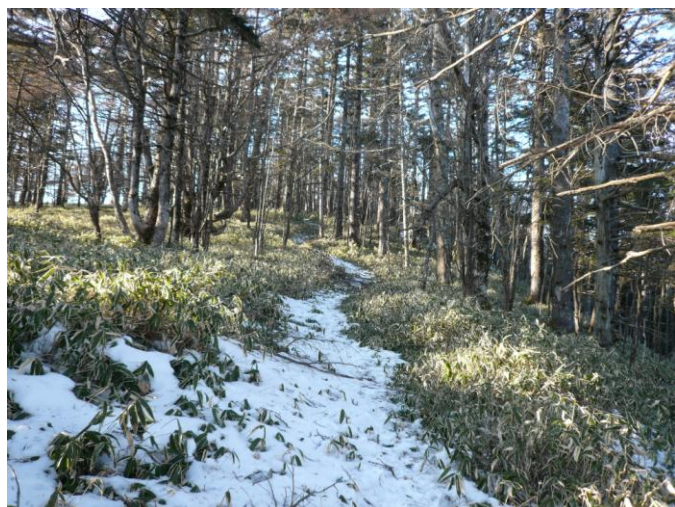
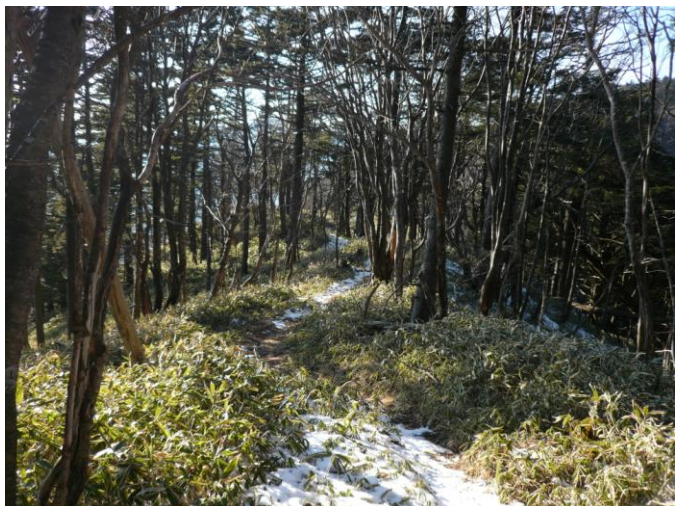
尾根の北斜面は少し雪が多い。それでも 30cm ほど。

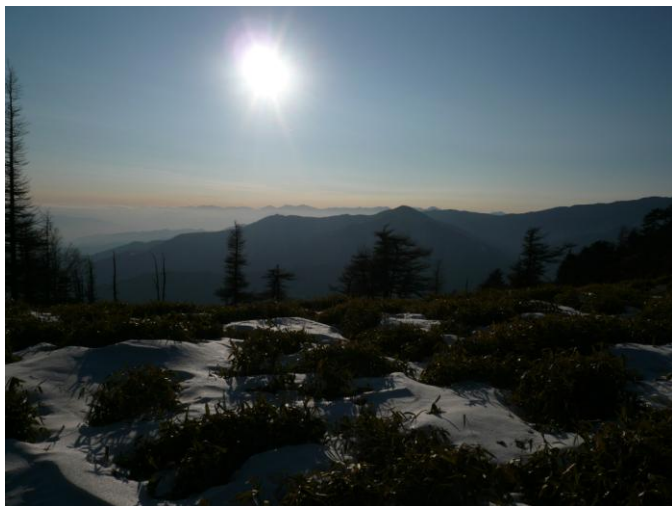
ところどころ富士山の方に展望の開けているところが。



南アルプス遠望



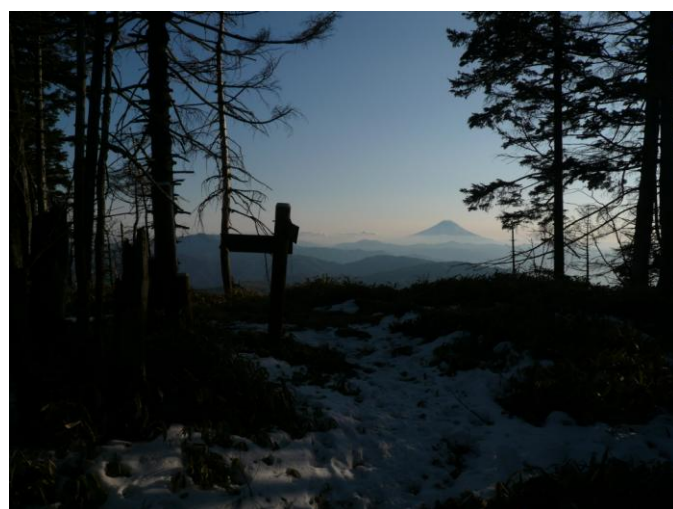




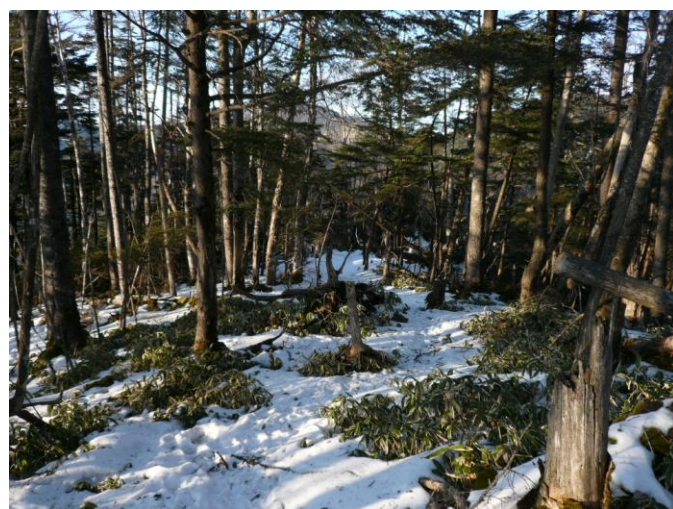
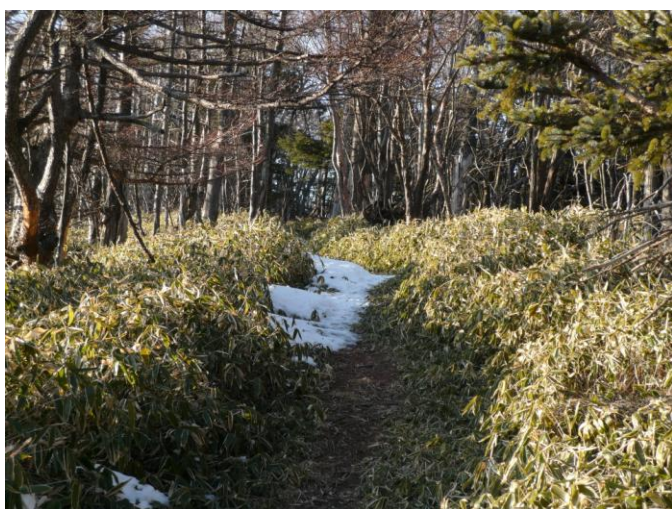
ゆっくり歩いているので、陽がだいぶ傾いてきてしまった。目的地までまだ距離があるので急がなければならないが、荷物が重くてへばってきてしまった。



古札山

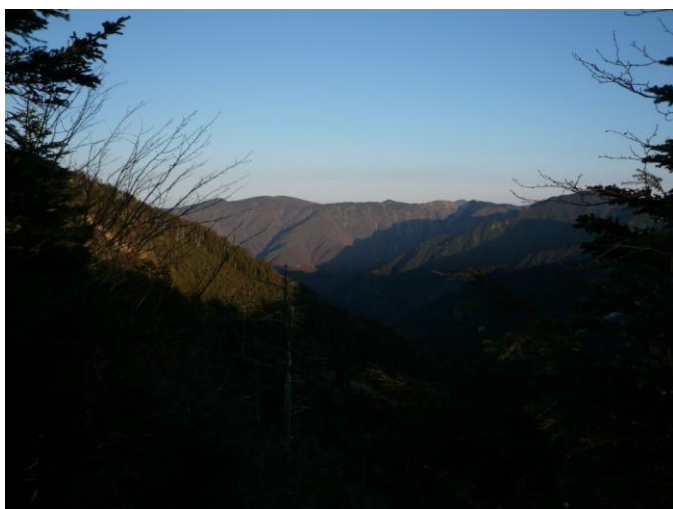


古札山山頂は南東の方角が開けている。古札山で道は直角に折れ曲がり、道は北へ。





古札山山頂からの急斜面の下りは凍っていた



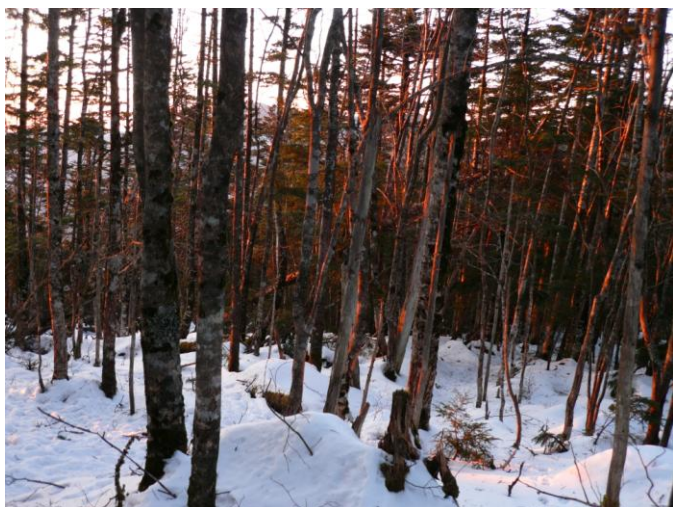
和名倉山



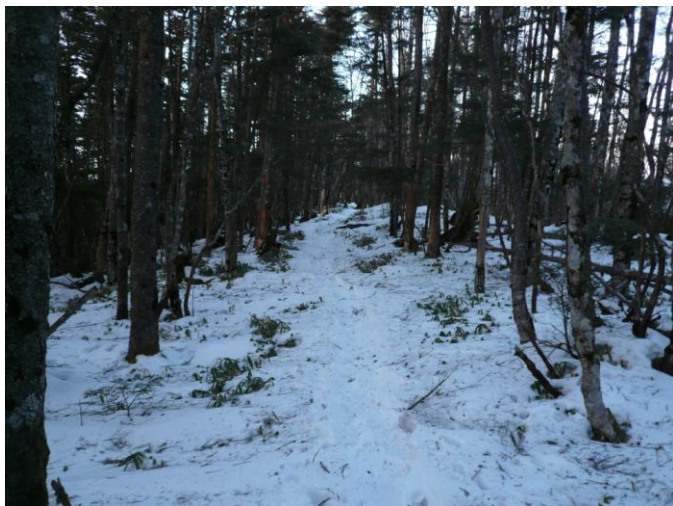
水晶山山頂



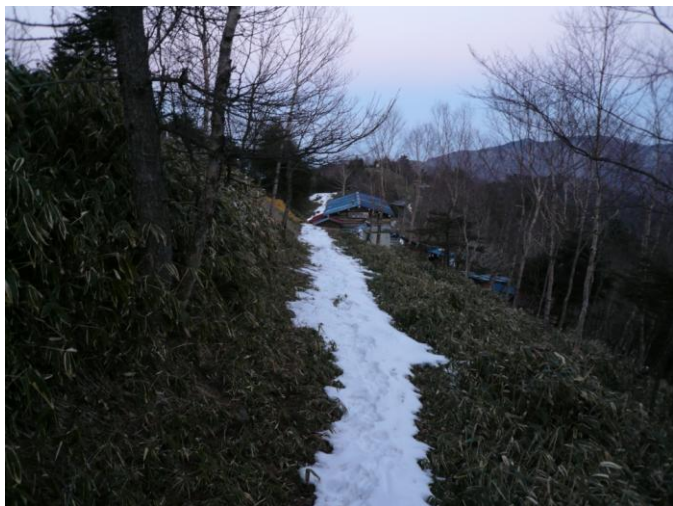
日が沈んでしまった



雁坂小屋への分岐。小屋は稜線の北面にある。



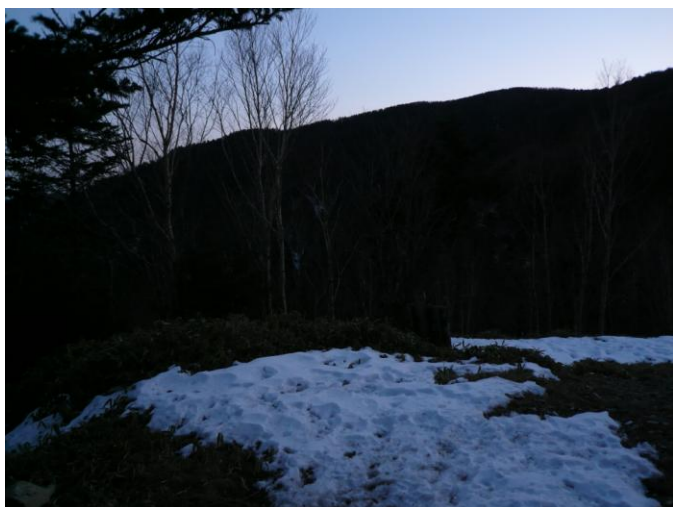
稜線から小屋へ下る。10分のはずが、疲れ果てていたためかいやに長く感じられた。



やっと小屋が近づいてきた



雁坂小屋に到着。小屋の主人はこの日下ってしまい無人だった。小屋は開放しているが有料(4500 円)なので、私たちは予定通り幕営することに。一人 60～70 歳ほどの男性登山客が小屋に泊まっていた。



雁坂小屋のテン場。水場は枯れていたなので雪を溶かした。